

「稚内の歴史的建造物と昭和100年記念事業」

稚内市歴史・まち研究会

稚内市には、明治時代に建造された「旧海軍望楼」や昭和初期に建造された「稚内赤れんが通信所」（正式名称：旧海軍大湊通信隊稚内分遣隊幕別送信所）など国境のまちを象徴するような歴史的建造物が現存しています。そのような国境のまちに残る歴史的建造物をととして、地域の活性化と周辺環境の整備に導くことを目的として、「稚内市歴史・まち研究会」は平成18年に発足しました。

令和7年度、稚内市歴史・まち研究会では、「稚内の歴史的建造物と昭和100年記念事業」と題して、これら歴史的建造物の保存、利活用を推進するとともに、戦後80年と昭和100年を記念し、近世以降の郷土の歴史に関する展示、講演、各種記念資料を作成し市民に配布するなど、下記の地域活性化事業を実施しました。

【「稚内赤れんが通信所」の一般公開と演奏会の開催】

毎年、「稚内市歴史・まち研究会」では、夏と秋に一般公開、冬に「平和祈念の灯り」の開催、春には「かた雪散策会」と季節ごとに年4回程度、「稚内赤れんが通信所」の一般公開を開催しております。

戦後80年と昭和100年にあたる令和7年は、一般公開において「稚内赤れんが通信所」のB棟に通信所に関する写真を展示するとともに、各種記念事業に取り組みました。

令和7年7月13日の一般公開では、稚内赤れんが通信所のB棟にて地域で演奏活動を実施している「問寒別室内楽団」による、演奏会を開催いたしました。当日は約60名の来場者の前で、素敵な音色を奏でていただき、その音色はB棟の高い天井まで響き渡りました。



稚内赤れんが通信所（A棟とB棟）



一般公開での演奏会の様子（R7.7.12）

また当施設は、太平洋戦争開戦時の真珠湾攻撃の電文「ニイタカヤマノボレ」を中継した施設と伝えられており、令和7年12月8日は、太平洋戦争開戦から84年目にあたりました。毎年、同施設では「平和祈念の灯り」として、施設内に約80基の灯籠に灯りをつけ、平和を祈念する事業を「稚内市歴史・まち研究会」と「稚内ユネスコ協会」を中心に実施しています。

令和7年は、市内のお絵描き教室の子どもたちが作成した平和の願いを描いた鳩や地球などの絵が描かれた31基の灯籠も点灯され、市民ら約50人とともに、平和を祈念いたしました。

【令和7年度「稚内赤れんが通信所」一般公開】

- ・第1回一般公開：令和7年7月12日（土）、7月13日（日）
- ・第2回一般公開：令和7年10月18日（土）、10月19日（日）
- ・平和祈念の灯り：令和7年12月8日（月）
- ・かた雪散策会：令和8年3月22日（日）



「平和祈念の灯り」絵付き灯籠の準備作業

【歴史講座の開催】

令和7年度は、「戦後80年・昭和100年－稚内の歴史を学ぶ、歴史に学ぶ－」と題して、稚内市教育委員会、稚内ユネスコ協会、稚内間宮林蔵顕彰会と協力しながら、稚内の近世の歴史や戦後80年に係る4つの講座を開講しました。講師には、各分野の5名の先生を招き、様々な視点で地域に関する理解を深めました。4つの講座には、稚内市民をはじめとして計121名の受講者があり、市民とともにそれぞれの先生から、新たな視点を学ぶことができました。稚内市歴史・まち研究会としても、今回先生方から教えていただいたことを、今後の活動に活かしていければと考えています。

・【戦後80年・昭和100年－稚内の歴史を学び、歴史に学ぶ－（近世編）】

① 5/17（土）15：00～16：30 「間宮林蔵がみた蝦夷錦の来た道」

講師：相原秀樹（元北海道新聞社編集委員）

② 6/28（土）15：00～16：30 「近藤重蔵の足跡」

講師：谷本晃久（北海道大学大学院人文学部歴史学講座日本史研究室教授）

③ 7/19（土）15：00～17：00

・第1講座「間宮林蔵と今井八九郎から宗谷の地図をたどる－その2－」

講師：佐々木利和（北海道大学特任教授/東京国立博物館名誉館員）

・第2講座「蝦夷・宗谷ロシアの関わり」

講師：岩崎奈緒子（京都大学総合博物館資料基礎調査系教授）

・【戦後80年・昭和100年－稚内の歴史を学び、歴史に学ぶ－】（戦後80年編）

④ 9/20（土）15：00～16：30 「記者がたどる戦争の実相」

講師：工藤俊悟（北海道新聞社記者）

※会場は、①は稚内市立図書館。

②③④は稚内市生涯学習総合支援センター風～る

【記念冊子と絵葉書の作成】

太平洋戦争開戦から70年にあたる令和4年、稚内信用金庫のコミュニティ誌である「JUSTNOW」の126号に、稚内赤れんが通信所とその再生に取り組む「稚内市歴史・まち研究会」が特集されました。それから4年が経過し、戦後80年が経過した令和7年、稚内信用金庫のご協力のもと、令和4年から令和6年までの当研究会の活動と市内やサハリンに残る戦争遺産を加え、再編集し「JUSTNOW特別号」として作成しました。

併わせて稚内赤れんが通信所の記念の絵葉書も作成し、赤れんが通信所の一般公開や歴史講座などを中心にして市民や関係者に配布しました。



稚内信用金庫コミュニティ誌 JUSTNOW特別号と絵葉書

【まとめ】

令和7年度は、稚内市歴史・まち研究会にとって市民とともに、「稚内の歴史的建造物と昭和100年記念事業」として、地域に残る文化財である歴史的建造物をととして、①歴史的建造物の一般公開、②歴史講座の開講、③記念誌などの作成、と実施した事業において、新たに得ることができた知見や資料は、今後も最北のまち稚内における地域づくりに活かしていきたいと考えています。



▶ 稚内市歴史・まち研究会 Facebook

<https://www.facebook.com/people/%E7%A8%9A%E5%86%85%E5%B8%82%E6%AD%B4%E5%8F%B2%E3%81%BE%E3%81%A1%E7%A0%94%E7%A9%B6%E4%BC%9A/100080408714717/#>